

## 第6回 山縣市子ども・子育て会議

日 時 平成27年8月 21日(金) 午前9:30~10:30  
場 所 山縣市役所3階 303会議室  
議 題 次世代育成支援行動計画継承施策の平成26年度実績報告について

配布資料 次世代育成支援行動計画からの継承施策の平成26年度実績  
山縣市子ども・子育て支援事業計画(当日配布)  
子育て応援ガイド(当日配布)

出席委員 林 陽子 委員 中部学院大学 教授  
丹羽 洋子 委員 子育て支援ネットワーク協議会  
木村 麻里 委員 NPO 法人山県楽しいプロジェクト代表  
柏木 満美子 委員 児童福祉施設若松学園代表  
村瀬 文 委員 高富民児協主任児童委員代表  
若園 舞子 委員 美山民児協主任児童委員代表  
河野 隆 委員 はなぞの北幼稚園長  
上野 里美 委員 富岡保育園長  
中島 幸子 委員 保育園保護者代表  
江川 有紀 委員 保育園保護者代表  
長屋 啓子 委員 公募に応じた市民  
梅田 義孝 委員 生涯学習課長  
藤田 弘子 委員 健康介護課長  
高屋 重義 委員 高富児童館長  
安川 博幸 委員 子育て支援センター所長

(欠席)

瓜野 秀典 委員 小中学校PTA  
横山 久仁子 委員 伊自良民児協主任児童委員代表  
和田 全弘 委員 校長会長  
上野 美奈 委員 保育園保護者代表  
渡辺 千俊 委員 学校教育課長

(傍聴人) 0人

事務局：福祉課 江口 弘幸  
福祉課 松井 資起

福祉課 藤根 紀子  
福祉課 中島 直哉  
健康介護課 大西 美樹

## 1. 開会

事務局	<p>おはようございます。本日は第6回の山県市子ども・子育て会議ということでお集まりいただき、誠に有難うございます。</p> <p>第5回は昨年12月24日に行い、皆様のお力添えによりまして、お手元にあります山県市子ども・子育て支援事業計画を作成することができました。</p> <p>その時に次世代育成支援行動計画を移す事をご了解いただきまして、今回の会議につきましてはその継承施策の報告ということで進めさせていただきます。</p> <p>では、会長よりご挨拶いただき、進めていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
-----	--

## 2. 議事

会長	<p>皆様おはようございます。早朝より、又夏休み中の忙しいなかお集まりいただき有難うございます。先ほど事務局より話ありましたように、思い起こせば昨年のクリスマス、雪も降ったかと思いますが、そのような大変なときに皆様のお知恵をお借りし、このような立派な事業計画を最終的に作らせていただきました。</p> <p>本日はその後半年以上たっておりますけど、皆様のところに別途郵送させていただきました平成26年度の事業実績について、記載されたものが郵送されたと思いますが、この資料に基づき説明いただきます。山県市の子どもたちの成長・発達、それから親さんの子育てに関しての支援がより一層充実したものになることを願いまして、昨年度の検証より一歩前に進むように、時間は限られておりますが忌憚の無いご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>お手元に次第が配布されているかと思っております。議題は1つです。次世代育成支援行動計画継承施策の平成26年度実績報告について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	資料に基づき説明
会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>今、6ページに渡ります次世代育成支援行動計画からの継承施策の平成26年度事業実績について、いくつかピックアップして報告いただきました。何かご質問等ありますか。</p>
委員	特定事業主行動計画について、有給休暇9.5日は理解できますが、その隣取得率が24.4日となっております。日ではなくパーセンテージで示すべきでないでしょうか。
事務局	誤りです。申し訳ございません。
委員	24.4%は少ないというイメージがあります。いかがでしょうか。
事務局	確かに少ないかもしれませんが、現況ということでご理解いただきたい。
委員	地域子育て支援拠点「おやこYY広場」はここに載っていないのですか。
事務局	おやこYY広場は地域子育て支援事業として国の補助金が出ますので、計画としては

	<p>第4章となり、計画の検証としては平成27年度から数値の検証を行いますので、次世代からの継承施策ではないため割愛させていただきました。</p> <p>継続的に実施している事業ではございます。次年度から計画の第4章部分を本格的に検証するので、そこでご意見をいただく事業となります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。外にはよろしいですか。</p>
委員	<p>健診率は、凄いことだと思いますが、それでも来られなかった方へのアフターフォローを教えてください</p>
事務局	<p>健診自体は、95%、99%ですが、その後の未確認は平成26年度全く無く、必ず全ての子どもと会うという形をとっています。それは次の健診に来ていただくということもありますが、健診の時間に来ることができないケースなどございます。</p> <p>その場合、保育園に訪問したり、市外の幼稚園等の場合市役所へ子どもさんと来ていただくなどし、全員に会った形で健診受診がその数値となります。</p>
会長	<p>よろしいですか。その時の健診がその数字で、その後のフォローはされているということですね。</p> <p>ほか、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>26年度で結構ですが、児童館事業について教えてください。開館日数、来館者数は記載ありますが、これの市外・市内の内訳を分かれば教えてほしいのですが。</p>
事務局	<p>おそらく児童館が市外50%。げんきはうすが市外40%ぐらいです。</p> <p>資料がありませんので、細かい数字は後日資料として郵送させていただきます。</p>
会長	<p>ほかにありますか。</p>
	<p>(長い無言の時間あり)</p>
事務局	<p>会長、1点報告させてください。</p> <p>先ほど事業実績で報告させていただいた子育て応援ガイドについて、一枚めくっていただくと山県市自慢の取り組みということで、特定不妊治療費の助成から高校生医療費まで7項目の記載あります。これについては、妊娠出産から子育て支援まで幅広く各種事業等をご紹介させていただいております。</p> <p>27年度8月号広報には子育て支援日本一をめざしてとして、先ほど申し上げた3歳児から5歳児の保育料無料及び私立幼稚園就園奨励費の上乗せ補助を始めていく状況でございます。今年度より利用者支援事業を委託事業ではじめ、また支援員研修をこれは県下で山県市のみが実施しておりますが、先駆的な取り組みもしております。</p> <p>子育てとは直接関係ありませんが、出会いの場の提供という事で7月から結婚相談所マリッジサポートセンターを開設しました。その中では婚活セミナーなど実施しております。</p> <p>市長の第2期目のマニフェストに子育て支援や健康寿命の延伸などありまして、様々な指示が出される状況です。そのようななか、どの様に課題を解決していくかということで、皆様のご意見、ご提案をいただきながら1つ1つ実施していきたいと思っております。</p>

委員	今保育園の無料化というお話があったのですが、私立幼稚園の私学助成についてどのようになるのでしょうか。
事務局	国の基準308,000円を上限として、幼稚園就園奨励費で賄われない額をまちづくり振興券で配布するという進め方です。今年度は保育所無料化と併せて、9月から3月の7ヶ月分が対象。幼稚園就園奨励費が年度末に精算されると聞いておりますので、それを待って実施されると聞いております。
委員	幼稚園と保育園の無料化の均衡性を保つため、今年度はまちづくり振興券で対応するという形ですか。
事務局	まちづくり振興券による配布は、市内企業の振興を図る目的もあります。まちづくり振興券交付事業は、現在10事業近くございます。その中の一環として実施するというご事情でございます。私立幼稚園の上乗せ補助については、先ほども申しましたが国の基準30,8000円を上限として、重ねて申しますが精算が年度末となりますので、正式な額が確定してから申請に基づき保護者に返還するというご事情でございます。これは私立幼稚園ということで、市内のみならず市外の幼稚園でも、山県市に住民票がある方が対象となります。
会長	よろしいですか。ほかに。どうぞ。
委員	未就学の方への手厚い政策が目立つのですが、小中学生に対して今後新しい政策はありますか。
事務局	新たに取り組むものは出ておりませんが、高校生までの医療費助成はやっております。特に新しいものは無い状況です。
委員	夏休み子ども用の行事が、みやま中央公民館であるのですが、参加できる人数が少ないため、そういう夏休み子どもが活動できる場があると親としてありがたいです。
委員	補足ですが、この問題は岐阜市でもある問題で、青少年自然の家で行う行事も抽選であるため、漏れるとできない。小学生に対する受け皿が少ないというのは、岐阜市でも言われている問題です。山県市が日本一を謳うのであれば、率先してそこに対応すると岐阜市よりも凄いと見えるのではないのでしょうか。
事務局	わかりました。今ですと公民館の事業等ということで、この場に担当課長もおりますのでご意見を賜ったということで、協議して検討したいと思っております。
会長	つなげていただけるということですので、是非頑張ってください。
委員	育休のことで、もう少し男性が取得するというご事情を山県市が積極的にやっていたらいいのではないかと。例えば三重県知事が率先して取得しました。そういうことをしないと男性の育休取得は浸透していかない。周りで取得している人がいれば自分もという気持ちになるが、そうでないとやはり尻込みしてしまう。市役所の職員が、率先して男性の育休取得を考えてもらうべきではないのでしょうか。
事務局	ありがとうございます。今年の3月に男女共同参画基本条例というものが施行されております。特定事業主の行動計画の中にも目標値が設定されております。その上に基本条例がで

	きたということで、モデル的なものがないかどうか、少しでも育児休業の取得率が上がるように、総務課に申し入れていきたいと思います。
委員	例えば市内企業で男性育休を取得している企業があれば、広報などで紹介してもらくと、そのような企業に入社したいと思う方もいるかもしれませんので、上手な紹介の仕方とかも検討していただきたい。
事務局	現在、県でそのような企業紹介をしていると聞いております。 取得率が低いというのは有ると思いますので、担当部局に申し入れしていきます。
委員	育児休業の前の出産休暇を、山県市の男性職員が何人か取得していると思います。県でもありましたが、男性職員は育休以前に出産休暇を取得していない人が多いです。まずは出産休暇を取得する人を増やして、その後育児休業へつなげていくこともいいかと思います。
会長	よろしいですか。 今、皆様方のご質問やご意見を伺っていて、新たな支援事業計画が策定され、進んでいくわけですが、全部署あげて取り組んでいただかないと子育てしやすい町であるということは難しいと感じました。あと、地方創生の戦略を作成していると思います。本当に全部署あげて、子育て支援のみならず男女共同参画や先ほどご意見ありましたように未就学児の支援に目がいきがちですが、小学生も中学生も高校生も未来の山県市民という目線で、事業を実施していただきたいと思いますと総括させていただきます。次に、子ども・子育て委員の改選について、事務局より説明願います。
事務局	子ども・子育て委員の改選について説明
会長	ありがとうございました。そうしましたら、この後第7回の会議は次年度になるということで、よほどのことが無い限り招集は無いという事でよろしいですね。 皆様、何かご不明な点ありますか。 皆様、ご理解いただけたようですので、事務局のほうにお返しいたします。
事務局	ありがとうございました。 本日の子ども・子育て会議の議事は終了いたしました。様々なご意見をいただきましたので、今後の事業の実施の参考にさせていただきながら、取り入れられるものは取り入れてまいりたいと思います。 本日の子ども・子育て会議は閉会します。ありがとうございました。

### 3. 閉会